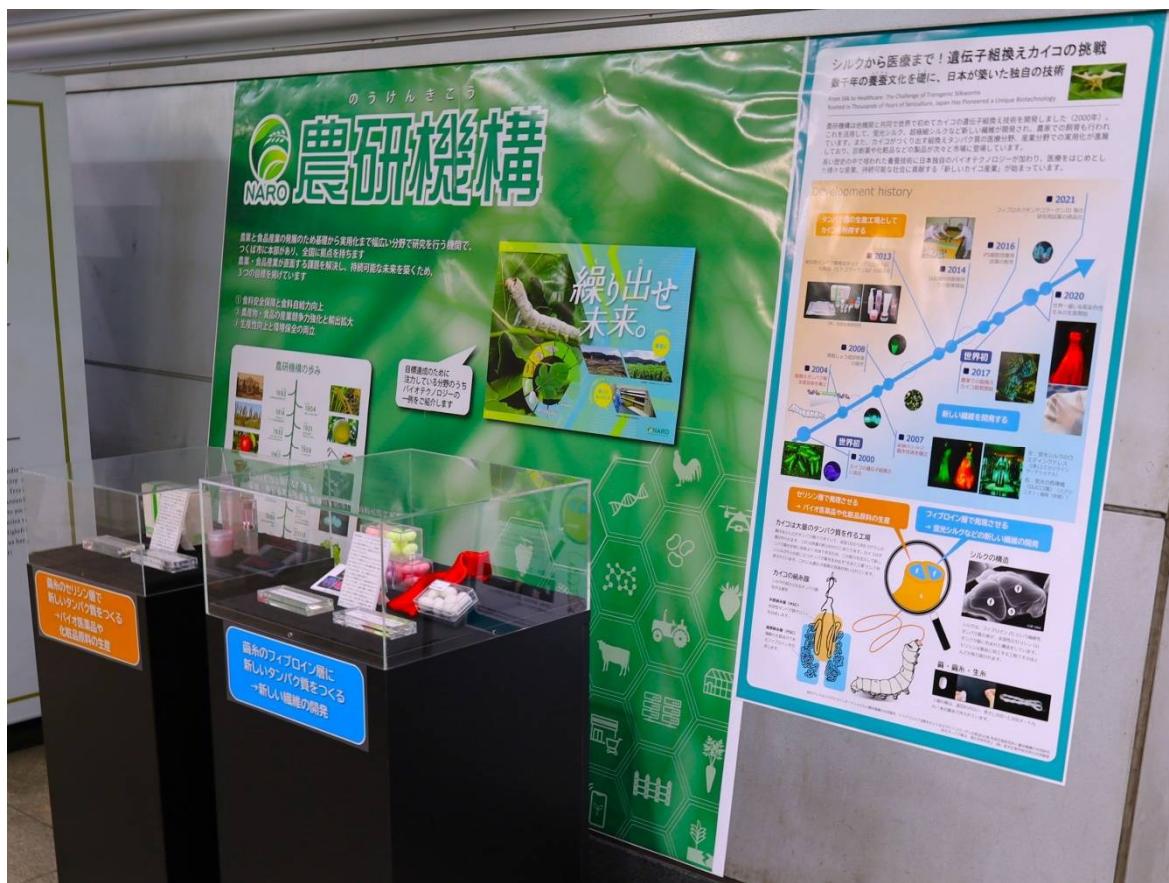


～つくば駅の新たな魅力発信～
特別展示第2弾 農研機構

つくばエクスプレス(TX)を運営する首都圏新都市鉄道株式会社(代表取締役社長 渡邊 良、東京都千代田区)は、つくば駅周辺の研究機関等と連携し、つくばの魅力を発信する特別展示ブースを、つくば駅構内に設置しています。

第2弾として、2026年1月27日より、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構(理事長 久間 和生、茨城県つくば市 以下:農研機構)に参加いただき、特別展示を行っています。

内容は、別紙のとおりです。



特別展示 農研機構

農研機構 特別展示について

1. 展示期間

2026年1月27日～2026年2月末頃

2. 展示場所

つくば駅(茨城県つくば市吾妻2-128)改札口付近 特別展示ブース

3. 出展法人

農研機構

4. 展示協力

一般財団法人 茨城県科学技術振興財団

5. 展示について

農研機構では、さまざまな研究開発の一環としてバイオテクノロジー研究に取り組んでいます。本展示では、その代表例である遺伝子組換えカイコに関する成果を紹介します。

農研機構のカイコ研究は明治初期まで遡ります。近代的一大産業であった養蚕業や製糸業を支えた研究開発は、現在、バイオテクノロジーと融合し、新しい産業(蚕業)に発展しています。

今回は新規シルク素材の他、原材料等の製造にカイコを利用した化粧品や研究用試薬を展示します。

<参考>農研機構について

農研機構(のうけんきこう)は、国内最大の農業・食品分野の研究機関です。「Society 5.0」の実現を通じて、①食料安全保障と食料自給力向上、②農産物・食品の産業競争力強化と輸出拡大、③生産性向上と環境保全の両立を目指し、育種、栽培、畜産、食品、スマート農業、AI、バイオ技術、防災・減災、環境、動植物防疫、種苗管理など多分野で研究開発を推進しています。

農研機構 HP:<https://www.naro.go.jp/index.html>

<参考>つくば駅特別展示について

「つくば駅」をモデルとして有識者等で構成する「駅機能のあり方勉強会」を2024年10月に発足し、幅広い見地からご意見をいただきながら将来的な方向性を検討してまいりました。この活動を通じて、つくば駅をモデルとして多様なニーズや社会的課題への対応など、駅に求められる機能の将来的な方向性を2025年4月に取りまとめました。

本勉強会の中で示された「つくばらしさを感じられる駅」という課題に基づき、研究学園都市としてのイメージの創出(科学技術や大学との連携などの発信)を行っています。

本企画の実施については、(一財)茨城県科学技術振興財団と連携して、つくばの魅力を発信する展示ブースを設置しています。

【特別展示の実施】

第1弾 2025年11月20日～2026年1月23日

大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

・展示物:「超電導加速空洞」

以上